

# バスケットボール競技における一側優位性に関する研究

-ドライブインファーストステップに着目して-

箕形 明香里(競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 吉川 文人

キーワード:一側優位性, ドライブイン, 支持脚, 機能脚

## 1. 緒言

手足, 耳や目などの対をなす器官では, 優位な側が存在することが知られている. このことを, 一側優位性と言う. この一側優位性は様々な運動場面で, 手足の利用や動作方向などに好き嫌い, 得意不得意や一側優位性の影響を想起させるプレーが見受けられる.

村田ら(2008)も, 上肢(利き手)において, 明らかな一側優位性があると報告している. 一方, 下肢(利き脚)は判別が難しい(山崎, 1999). しかし, 石津(2011)は, 体重を支える足を軸足(支持脚), 巧緻な動作を行う足を利き足(機能脚)として利き足の判定をしている. そして芋生らは, 機能脚は支持脚よりも機能性が高いと推察している. 以上をバスケットボール競技の競技要素, 特にオフェンスにおけるフットワークを例に捉えて考えてみると, ピボットフット, リードフットそれぞれ左右の使い分けに好き嫌いや得意不得意がある. そのピボットフットは支持脚として体を支える役割を果たしており, リードフットは機能脚として俊敏に動く役割を果たす. それを踏まえると, 特にパス・キャッチからドライブインをするときの動きに一側優位性が見られ, その側性が競技パフォーマンスに影響すると考えられる. しかし, 実際にそれを検証した報告がほとんどない.

そこで本研究は, バスケットボール競技の中でもトリプルフレット姿勢からドライブを突き出すときのピボットフットとリードフットからなるステップ(ファーストステップ)の動作局面に一側優位性があるか否かを究明し, ドライブイン動作の特徴を分類・整理することを目的とした.

## 2. 研究方法

対象は, 本学女子バスケットボール部 12 名とする. ウォータールー利き足質問紙(南 2002)を改変した独自の質問紙を使い, 利き手利き足, バスケットボール競技のドライブイン

動作に関連する質問項の計 18 項目で調査を行った. 次に Star Excursion Balance Test (SEBT) を参考に改良し, ドライブ時の側性を調べた. ファーストステップのリードフットの離地から接地までの時間とピボットフットの爪先とリードフットの踵の間の距離すなわちリーチ長を測定した. それらの左右とステップの組み合わせで 1 秒あたりのリーチ距離を比較した.

## 3. 結果と考察

質問紙改良版から, 被験者は全員右利きであり, 機能脚は右, 支持脚が左ということがわかった. ミートするときのステップ(左右), ドライブ方向, ステップ(オープン, クロス)それぞれに得意な方向や好きな方向が決まっており, 偏向性があった. 一方, SEBT の改良版を使った実験では, 条件の組み合わせ毎に 1 秒あたりのリーチ距離を調べたところ, 一側優位性は見られなかった.

## 4. まとめ

本研究では, 本学女子バスケットボール部員を対象にドライブインファーストステップにおける一側優位性について実験を行った. しかし, 一側優位性は見られなかった. より実践に近い条件で一側優位性を再検討することが期待される.

## 引用・参考文献

芋生祥之ら(2014)高校女子バスケットボール選手における股関節外転・内転筋力と敏捷性動作との関係性—利き脚の特性— 第 49 回日本理学療法学会大会抄録集: 1305

石津希代子(2011)利きの発達と左右差 日本大学大学院総合社会情報研究科紀要 12: 157-161  
南憲治(2002)ウォータールー利き足質問紙(日本版)の検討 日本心理学会総会発表論文集(44) 545

村田伸ら(2008)上下肢の一側優位性に関する研究 西九州リハビリテーション研究 1: 11-14  
山崎信寿(1999)足の辞典 朝倉書店